

納品伝票情報

条件 → ○：必須、K：伝票照合キー、s,S：商品照合キー、N：数量確認項目、○*xn：選択必須、□：条件付き指定、△：任意、-：指定不要

No.	項目名	条件		書式			説明等
		販売物流	在庫移動	型	文字数	表記	
1	ヘッダー情報						納品伝票データ登録時の情報
2	データ種別	○	○	文字	2	区分コード	送信する情報の種別を設定します 1：輸送情報、3：納品伝票情報、4：RTI伝票情報
3	データ作成日付	△	△	文字	8	YYYYMMDD	提供企業がデータを入力した日付
4	データ登録日時	-	-	文字	23	YYYY/MM/DD hh:mm:ss.999	エンドユーザは設定不要です。 伝票電子化システムがデータを登録した日時を設定します（登録結果として返す）
5	提供企業コード(標準)	○	○	文字	13	コード	提供企業の企業コード(標準コード) ※標準コードは事前に取得しておく必要があります
6	提供企業コード(商流)	△	△	文字	13	コード	" (発注者/受注者共通認識の商流系のコード)
7	提供企業事業所コード(標準)	○	○	文字	13	コード	提供企業の取引先発生事業所コード(標準コード) ※標準コードは事前に取得しておく必要があります
8	提供企業事業所コード(商流)	△	△	文字	13	コード	" (発注者/受注者共通認識の商流系のコード)
9	提供企業名	○	○	文字	40		提供企業の企業名
10	提供企業事業所名	○	○	文字	40		提供企業事業所の事業所名
11	ステータス	○	○	文字	5	区分コード	No.2「データ種別」で指定する値に応じたデータの出力契機を表す値を設定します データ連携の際に使用するデータ種別毎のステータスを以下に示します 輸送情報：配車-出荷-入荷、納品伝票情報：受注-出荷-入荷-受領
12	データ取り扱い区分	○	○	文字	2	区分コード	送信する情報をどのように取り扱うか設定します 0：新登録、1：更新、9：削除
13	フォーマットバージョン	○	○	文字	15		送信する情報で使用しているフォーマットのバージョンを設定します 受信側で送信された情報が対応しているフォーマットか判断したり、フォーマットバージョンに応じた処理を実施する等で利用します
1	車両情報						1.1 運送毎の情報 ※1日複数配送する場合、それぞれ個別の情報として登録（繰り返し項目）
2	輸送ID	□*s1	□*s1	文字	40		1回の輸送を識別するグローバルでユニークなIDを設定します 車両情報登録時に設定します。本項目はNo.3との選択必須となります ※輸送IDのコード内容については残課題としています
3	輸送識別番号	□*s1	□*s1	文字	20		1回の輸送を企業内で識別できる値を設定します 車両情報登録時に設定します。本項目はNo.2との選択必須となります 同じ値を複数の輸送で使用しないことが望ましい
4	運送事業者本社コード(標準)	△	△	文字	13	コード	実輸送を実施する運送事業者の本社を示すコード(標準コード)
5	運送事業者コード(標準)	□*s2連	□*s2連	文字	13	コード	実輸送を実施する運送事業者の事業所等を示すコード(標準コード)
6	運送事業者コード(自社ローカル)	□*s2連	□*s2連	文字	13	コード	" (自社のローカルコード)
7	運送事業者名	△	△	文字	40		実輸送を実施する運送事業者名
8	運送日	△	△	文字	8		運送する日（最初の日）※1日複数便を考慮し時間まで指定
9	到着日	△	△	文字	8		着拠点へ到着する日
10	車両番号	△	△	文字	20		車両のナンバープレートの情報を設定します
11	車両種類	△	△	文字	20		車両の種類等（10tウイングなど）
12	乗務員名	△	△	文字	20		乗務員（ドライバー）の氏名
13	乗務員電話番号	△	△	文字	20		乗務員（ドライバー）の連絡先（電話番号）
14	乗務員メールアドレス	△	△	文字	32		乗務員（ドライバー）の連絡先（メールアドレス）
15	運送ルート	△	△	文字	8		運送ルート等の情報
16							※条件欄補足 → 運：運送事業者コード指定時、どちらかを指定
17	[車両情報共通リザーブ領域]						リザーブ領域は、ソリューションプロバイダ間のデータ連携でのみ使用する項目で、エンドユーザは設定不要です。ソリューションプロバイダ間のデータ連携で、ソリューションプロバイダ固有情報を授受する必要がある場合に使用します。どの項目にどのような情報を設定するか互いに取り決めておく必要があります ※以降のすべてのリザーブ領域も同様
18	車両-共通リザーブ領域1	△	△	文字	1024		
19	車両-共通リザーブ領域2	△	△	文字	1024		
20	車両-共通リザーブ領域3	△	△	文字	1024		
21	車両-共通リザーブ領域4	△	△	文字	1024		
22	車両-共通リザーブ領域5	△	△	文字	1024		
23							
24	届け先別情報						届け先別の情報（繰り返し項目）
25	車両届け先別ステータス	-	-	文字	5	区分コード	システムから返信時設定される車両/届け先別(サブ輸送)のステータス情報 データを受信する際に伝票電子化システムで設定される情報です 本項目には輸送情報のステータスが設定されます。（エンドユーザは設定不要）
26	配送順序番号	△	△	文字	3		運送ルート上の順序番号
27	納品ケース数	△	△	文字	9		届け先あたりのケース数
28	総ユニット数	△	△	文字	5		届け先に輸送される物流容器の総数（パレット、カゴ車等の数量合計）
29	発着拠点ローカルコード主	□	□	文字	13	コード	自社のコードを使用しない場合、使用した企業の企業コードを設定します 発着拠点・着拠点のローカルコードに自社以外コードを指定した場合必須となります ※伝票に記載された出荷拠点や届け先のコードをそのまま発着拠点・着拠点のローカルコードとして使う場合、どの荷主のコードか指定するために使用します。伝票記載のコードを発着拠点、着拠点に使用する場合は、該当伝票情報のNo.100「発着主コード(ローカル)」の値を設定します ※自社で拠点のコードを持っている場合は、自社のコードを使用することを推奨します
30	[届け先別情報共通リザーブ領域]						届け先別情報共通のリザーブ領域項目 1～5
31	届け先別-共通リザーブ領域1	△	△	文字	1024		
32	届け先別-共通リザーブ領域2	△	△	文字	1024		
33	届け先別-共通リザーブ領域3	△	△	文字	1024		
34	届け先別-共通リザーブ領域4	△	△	文字	1024		
35	届け先別-共通リザーブ領域5	△	△	文字	1024		
36	発着拠点						出発拠点
37	発着拠点本社コード(標準)	△	△	文字	13	コード	発着拠点の本社を示すコード(標準コード)
38	発着拠点コード(標準)	○*t2	○*t2	文字	13	コード	発着拠点(企業及び工場・事業所・事業部門)を表すコード(標準コード)
39	発着拠点コード(ローカル)	○*t2	○*t2	文字	13	コード	" (自社のローカルコード)
40	発着拠点名	○	○	文字	50		発着拠点の名称
41	発着拠点住所	○	○	文字	100		発着拠点の住所（郵便番号含む）
42	発着拠点電話番号	○	○	文字	20		発着拠点の電話番号
43	[届け先別発着拠点リザーブ領域]						届け先別情報発着拠点カテゴリのリザーブ領域項目 1～5
44	届け先別-発着拠点リザーブ領域1	△	△	文字	1024		
45	届け先別-発着拠点リザーブ領域2	△	△	文字	1024		
46	届け先別-発着拠点リザーブ領域3	△	△	文字	1024		
47	届け先別-発着拠点リザーブ領域4	△	△	文字	1024		
48	届け先別-発着拠点リザーブ領域5	△	△	文字	1024		

納品伝票情報

条件 → ○：必須、K：伝票照合キー、s,S：商品照合キー、N：数量確認項目、○*xn：選択必須、□：条件付き指定、△：任意、-：指定不要

No.	項目名	条件		書式			説明等
		販売物流	在庫移動	型	文字数	表記	
49	着拠点						到着拠点
50	着拠点本社コード(標準)	△	△	文字	13	コード	着拠点の本社を表すコード(標準コード)
51	着拠点コード(標準)	○*t1	○*t1	文字	13	コード	着拠点(企業及び工場・事業所・事業部門)を表すコード(標準コード)
52	着拠点コード(ローカル)	○*t1	○*t1	文字	13	コード	" (自社のローカルコード)
53	着拠点名	◎	◎	文字	50		着拠点の名称
54	着拠点住所	◎	◎	文字	100		着拠点の住所(郵便番号含む)
55	着拠点電話番号	◎	◎	文字	20		着拠点の電話番号
56	着拠点庭先条件	△	△	文字	20		着拠点の庭先条件
57	[届け先別着拠点リザーブ領域]						届け先別情報着拠点カテゴリのリザーブ領域項目1~5
58	届け先別-着拠点-リザーブ領域1	△	△	文字	1024		
59	届け先別-着拠点-リザーブ領域2	△	△	文字	1024		
60	届け先別-着拠点-リザーブ領域3	△	△	文字	1024		
61	届け先別-着拠点-リザーブ領域4	△	△	文字	1024		
62	届け先別-着拠点-リザーブ領域5	△	△	文字	1024		
63							
64	ユニット情報						ユニット利用に関する情報(繰り返し項目)
65	ユニット区分	◎	◎	文字	2	区分コード	ユニット情報を設定する場合、物流容器の種類を設定します 1:コンテナ、2:パレット、3:カゴ車、5:クレート、6:オリコン、7:ばんじゅう、9:その他容器 ユニット情報を設定しない場合は「0:なし」を設定します(ユニットなしで車両に積載された商品とみなす) 「0:なし」以外を設定の場合、No.66「ユニット種別」~No.69「ユニット数」の設定が必要
66	ユニット種別	□ユ	□ユ	文字	4	区分コード	No.65「ユニット区分」で設定した物流容器の形式等の種別を設定します 例) 11型のパレットを設定する場合、No.65「ユニット区分」に2:パレットをNo.66「ユニット種別」に0103:11型パレットを設定します
67	ユニット管理No区分	□ユ	□ユ	文字	2	区分コード	ユニット構成として物流容器を個々に設定する場合は、物流容器の管理番号(個体番号)の種類を設定します 1:GRAI、2:SSCC、9:プライベートコード 物流容器を個々に設定せず、総量で扱う場合は「0:総量」を設定します
68	ユニット管理No	□ユ	□ユ	文字	46		物流容器の管理番号(個体番号)を設定します No.67「ユニット管理No区分」に「0:総量」を設定した場合は設定不要です
69	ユニット数	□ユ	□ユ	文字	5		ユニットを構成する物流容器の数量を設定します 物流容器を個々に設定する場合は1を、総量で設定する場合その数を設定します
70							※条件欄補足 → ユ:「ユニット区分」が「なし」以外の場合指定
71	[ユニット情報共通リザーブ領域]						ユニット情報共通のリザーブ領域項目1~5
72	ユニット-共通-リザーブ領域1	△	△	文字	1024		
73	ユニット-共通-リザーブ領域2	△	△	文字	1024		
74	ユニット-共通-リザーブ領域3	△	△	文字	1024		
75	ユニット-共通-リザーブ領域4	△	△	文字	1024		
76	ユニット-共通-リザーブ領域5	△	△	文字	1024		
77	路線便情報						路線便利用時の情報
78	路線便利用区分	◎	◎	文字	2	区分コード	路線便の利用有無を指定します 0:無、1:有 「0:無」以外を設定の場合、No.79「路線便事業者本社コード(標準)」~No.85「路線便発送日」の設定が必要
79	路線便事業者本社コード(標準)	△	△	文字	13	コード	路線便事業者の事業者の本社を示すコード(標準コード)
80	路線便事業者コード(標準)	○*y2路	○*y2路	文字	13	コード	路線便事業者の事業者の事業所等を示すコード(標準コード)
81	路線便事業者コード(ローカル)	○*y2路	○*y2路	文字	13	コード	路線便事業者の事業者の事業所等を示すコード(自社のローカルコード)
82	路線便事業者名	□路	□路	文字	40		路線便事業者の名称
83	路線便送り状番号	□路	□路	文字	20		路線便の送り状番号・問合せ番号
84	路線便個口数	□路	□路	文字	5		路線便で発送した個口数
85	路線便発送日	△路	△路	文字	8	YYYYMMDD	路線便で発送した日
86							※条件欄補足 → 路:「路線便利用区分」が「あり」の場合指定
87	[ユニット情報路線便リザーブ領域]						ユニット情報路線便カテゴリのリザーブ領域項目1~5
88	ユニット-路線便-リザーブ領域1	△	△	文字	1,024		
89	ユニット-路線便-リザーブ領域2	△	△	文字	1,024		
90	ユニット-路線便-リザーブ領域3	△	△	文字	1,024		
91	ユニット-路線便-リザーブ領域4	△	△	文字	1,024		
92	ユニット-路線便-リザーブ領域5	△	△	文字	1,024		
93	ユニット・路線便共通						ユニット・路線便で共通な情報
94	総商品アイテム数	△ユ路	△ユ路	文字	5		ユニット、路線便利用時の商品アイテム総数 ※要確認
95							
96	納品伝票ヘッダー情報(荷主・拠点別)						納品伝票を発荷主/着荷主/出荷拠点/届け先/中継拠点単位に集約するため、納品伝票内からこれらの情報をピックアップした情報
97	発荷主(受注者)						発荷主(受注者)の情報 ※「受注者(取引先)」から名称変更
98	発荷主本社コード(標準)	△	△	文字	13	コード	発荷主の本社を示すコード(標準コード)
99	発荷主コード(標準)	○*d2K	○*d2	文字	13	コード	発荷主(企業及び工場・事業所・事業部門)を表すコード(標準コード) 発荷主のコードを設定します。No.99またはNo.100のどちらかを設定する必要があります。標準コードが設定されていない場合は伝票電子化システムでローカルコードから標準コードに変換する必要があります No.99「発荷主コード(標準)」項目は、受領結果通知票との照合に使用します
100	発荷主コード(ローカル)	○*d2	○*d2	文字	13	コード	" (自社のローカルコード)
101	発荷主コード(商流)	△	-	文字	13	コード	" (卸業者/メーカー共通認識の商流系のコード)
102	発荷主名	◎	◎	文字	50		発荷主の名称
103	発荷主住所	◎	◎	文字	100		発荷主の住所(郵便番号含む) ※問い合わせ先
104	発荷主電話番号	◎	◎	文字	20		発荷主の電話番号 ※問い合わせ先
105	[納伝情報発荷主リザーブ領域]						納伝情報発荷主カテゴリのリザーブ領域項目1~5
106	納伝-発荷主-リザーブ領域1	△	△	文字	1024		
107	納伝-発荷主-リザーブ領域2	△	△	文字	1024		
108	納伝-発荷主-リザーブ領域3	△	△	文字	1024		
109	納伝-発荷主-リザーブ領域4	△	△	文字	1024		
110	納伝-発荷主-リザーブ領域5	△	△	文字	1024		

納品伝票情報

条件 → ○：必須、K：伝票照合キー、s,S：商品照合キー、N：数量確認項目、○*xn：選択必須、□：条件付き指定、△：任意、-：指定不要

No.	項目名	条件		書式			説明等
		販売物流	在庫移動	型	文字数	表記	
111	着荷主(発注者)						着荷主(発注者)の情報 ※「発注者(得意先)」から名称変更
112	着荷主本社コード(標準)	△	-	文字	13	コード	着荷主の本社を示すコード(標準コード)
113	着荷主コード(標準)	○*d1K	-	文字	13	コード	着荷主(企業及び工場・事業所・事業部門)を表すコード(標準コード) 着荷主のコードを設定します。No.113またはNo.114のどちらかを設定する必要があります。標準コードが設定されていない場合は伝票電子化システムでローカルコードから標準コードに変換する必要があります No.113「着荷主コード(標準)」項目は、受領結果通知との照合に使用します 注：在庫移動で使用する場合は設定は任意項目となります
114	着荷主コード(ローカル)	○*d1	-	文字	13	コード	" (自社のローカルコード)
115	着荷主コード(商流)	△	-	文字	13	コード	" (卸業者/メーカー共通認識の商流系のコード)
116	着荷主名	◎	-	文字	50		着荷主の名称
117	[納伝情報着荷主リザーブ領域]						納伝情報着荷主カテゴリのリザーブ領域項目 1～5
118	納伝-着荷主-リザーブ領域1	△	△	文字	1024		
119	納伝-着荷主-リザーブ領域2	△	△	文字	1024		
120	納伝-着荷主-リザーブ領域3	△	△	文字	1024		
121	納伝-着荷主-リザーブ領域4	△	△	文字	1024		
122	納伝-着荷主-リザーブ領域5	△	△	文字	1024		
123	出荷拠点						出荷拠点の情報
124	出荷拠点本社コード(標準)	△	△	文字	13	コード	出荷拠点の本社を示すコード(標準コード)
125	出荷拠点コード(標準)	○*d4	○*d4K	文字	13	コード	出荷拠点(企業及び工場・事業所・事業部門)を表すコード(標準コード) 出荷拠点のコードを設定します。No.125またはNo.126のどちらかを設定する必要があります。標準コードが設定されていない場合は伝票電子化システムでローカルコードから標準コードに変換する必要があります No.125「出荷拠点コード(標準)」項目は、受領結果通知票との照合に使用します
126	出荷拠点コード(ローカル)	○*d4	○*d4	文字	13	コード	" (自社のローカルコード)
127	出荷拠点コード(商流)	△	-	文字	13	コード	" (発注者/受注者共通認識の商流系のコード)
128	出荷拠点名	◎	◎	文字	50		出荷拠点の名称
129	出荷拠点住所	◎	◎	文字	100		出荷拠点の住所 (郵便番号含む)
130	出荷拠点電話番号	◎	◎	文字	20		出荷拠点の電話番号
131	[納伝情報出荷拠点リザーブ領域]						納伝情報出荷拠点カテゴリのリザーブ領域項目 1～5
132	納伝-出荷拠点-リザーブ領域1	△	△	文字	1024		
133	納伝-出荷拠点-リザーブ領域2	△	△	文字	1024		
134	納伝-出荷拠点-リザーブ領域3	△	△	文字	1024		
135	納伝-出荷拠点-リザーブ領域4	△	△	文字	1024		
136	納伝-出荷拠点-リザーブ領域5	△	△	文字	1024		
137	届け先						届け先の情報
138	届け先本社コード(標準)	△	△	文字	13	コード	届け先の本社を示すコード(標準コード)
139	届け先コード(標準)	○*d3K	○*d3K	文字	13	コード	届け先(企業及び工場・事業所・事業部門)を表すコード(標準コード) 届け先のコードを設定します。No.139またはNo.140のどちらかを設定する必要があります。標準コードが設定されていない場合は伝票電子化システムでローカルコードから標準コードに変換する必要があります No.139「届け先コード(標準)」項目は、受領結果通知票との照合に使用します
140	届け先コード(ローカル)	○*d3	○*d3	文字	13	コード	" (自社のローカルコード)
141	届け先コード(商流)	△	-	文字	13	コード	" (発注者/受注者共通認識の商流系のコード)
142	届け先名	◎	◎	文字	50		届け先の名称
143	届け先住所	◎	◎	文字	100		届け先の住所 (郵便番号含む)
144	届け先電話番号	◎	◎	文字	20		届け先の電話番号
145	届け先庭先条件	△	△	文字	100		届け先の庭先条件
146	[納伝情報届け先リザーブ領域]						納伝情報届け先カテゴリのリザーブ領域項目 1～5
147	納伝-届け先-リザーブ領域1	△	△	文字	1024		
148	納伝-届け先-リザーブ領域2	△	△	文字	1024		
149	納伝-届け先-リザーブ領域3	△	△	文字	1024		
150	納伝-届け先-リザーブ領域4	△	△	文字	1024		
151	納伝-届け先-リザーブ領域5	△	△	文字	1024		
152	中継拠点						中継拠点を利用する出荷拠点で輸送情報登録時に設定します[任意] 中継拠点ユーザーにデータ連携する場合は設定する必要があります ※納品伝票情報へのアクセス権制御で使用のため
153	中継拠点本社コード(標準)	△	△	文字	13	コード	中継拠点の本社を示すコード(標準コード)
154	中継拠点コード(標準)	○*d5中	○*d5中	文字	13	コード	中継拠点(企業及び工場・事業所・事業部門)を表すコード(標準コード)
155	中継拠点コード(ローカル)	○*d5中	○*d5中	文字	13	コード	" (自社のローカルコード)
156	中継拠点名	□中	□中	文字	50		中継拠点の名称
157							※条件欄補足 → 中：中継拠点を経由した輸送がある場合指定
158	[納伝情報中継拠点リザーブ領域]						納伝情報中継拠点レベルのリザーブ領域項目 1～5
159	納伝-中継-リザーブ領域1	△	△	文字	1024		
160	納伝-中継-リザーブ領域2	△	△	文字	1024		
161	納伝-中継-リザーブ領域3	△	△	文字	1024		
162	納伝-中継-リザーブ領域4	△	△	文字	1024		
163	納伝-中継-リザーブ領域5	△	△	文字	1024		

納品伝票情報

条件 → ○：必須、K：伝票照合キー、s,S：商品照合キー、N：数量確認項目、○*xn：選択必須、□：条件付き指定、△：任意、-：指定不要

No.	項目名	条件		書式			説明等
		販売物流	在庫移動	型	文字数	表記	
164	納品伝票情報						納品伝票情報には、納品伝票番号ごとの情報を設定します
165	納品伝票ステータス	-	-	文字	5	区分コード	システムから返信時設定される納品伝票のステータス情報 データを受信する際に伝票電子化システムで設定される情報です 本項目には納品伝票情報のステータスが設定されます。(エンドユーザは設定不要)
166	運送区分	○	○	文字	2	区分コード	輸送が販売物流なのか在庫移動なのかを示す情報です 1：販売物流、2：在庫移動
167	納入予定日／納入日	○	○	文字	8	YYYYMMDD	発側では納入予定日を設定します。着側では入荷実績としての納入日を設定します
168	納伝ID	○	○	文字	80		1票の納品伝票を識別するグローバルでユニークなID 納伝IDは新規に納品伝票情報を作成する場合に採番します 納伝ID構成項目：「伝票番号」「発荷主コード(ローカル)」「出荷拠点コード(標準)」「届け先コード(ローカル)」「納入予定日／納入日」を”_”で繋ぐ
169	納品伝票番号	○	○K	文字	23		発荷主が発行した納品伝票の番号を設定します
170	発注番号	○K	-	文字	23		着荷主が発行した発注データの発注番号を設定します。発注番号がない場合は0を設定します 注：在庫移動で使用する場合は設定不要です
171	[納伝情報共通リザーブ領域]						納伝情報共通のリザーブ領域項目 1～5
172	納伝-共通-リザーブ領域1	△	△	文字	1024		
173	納伝-共通-リザーブ領域2	△	△	文字	1024		
174	納伝-共通-リザーブ領域3	△	△	文字	1024		
175	納伝-共通-リザーブ領域4	△	△	文字	1024		
176	納伝-共通-リザーブ領域5	△	△	文字	1024		
177	伝票合計・確認・備考等						納品伝票内の商品合計・確認・備考等の情報
178	合計商品数量	△	△	数値	9		伝票明細の商品数量の合計値を設定します
179	合計商品バラ数量	△	△	数値	12		伝票明細の商品バラ数量の合計値を設定します
180	合計商品重量	△	△	数値	13	ZZZZZZZZZ9.99	伝票明細の商品重量の合計値を設定します(単位はKg)
181	確認印情報	△	△	文字	100		届け先で受領した際の受領サイン等のイメージ情報が格納されている場所を示すURLを設定します ※届け先で作成される情報を設定する項目
182	備考	△	△	文字	100		備考欄
183	[納伝情報商品合計リザーブ領域]						納伝情報共通のリザーブ領域項目 1～5
184	納伝-商品合計-リザーブ領域1	△	△	文字	1024		
185	納伝-商品合計-リザーブ領域2	△	△	文字	1024		
186	納伝-商品合計-リザーブ領域3	△	△	文字	1024		
187	納伝-商品合計-リザーブ領域4	△	△	文字	1024		
188	納伝-商品合計-リザーブ領域5	△	△	文字	1024		
189	商品明細						納品伝票に記載の商品明細の情報を設定します。商品明細は納品伝票情報内で複数設定可能とします 商品単品のGTIN (JANコード等)を設定します。受領結果通知との照合に使用します 注：在庫移動で使用する場合は設定は任意項目となります
190	商品コード(JANコード)	○s	△	文字	16	コード	商品単品のGTIN (JANコード等)を設定します。受領結果通知との照合に使用します 注：在庫移動で使用する場合は設定は任意項目となります
191	商品コード(集合包装用)	○s	○s	文字	16	コード	商品単品のGTIN (ITFコード等)を設定します。受領結果通知との照合に使用します
192	商品コード(ローカル：メーカーP)	△	△	文字	16	コード	メーカーのプライベートコード
193	商品コード(ローカル：卸P)	△	△	文字	16	コード	卸のプライベートコード
194	外装コード	△	△	文字	16	コード	出荷した商品の外装コード
195	商品名	○	○	文字	50		商品名称
196	規格・容量・荷姿	△	△	文字	50		規格や容量、荷姿を表す表記
197	入数	○	○	数値	5		出荷単位に入っているバラ数量
198	単位	○	○S	文字	3	区分コード	出荷単位を設定します。 1：ケース、2：ボール、3：バラ、4：梱、5：キログラム、7：グラム、8：ミリリットル、9：リットル 注：在庫移動で使用する場合は、受領結果通知との照合に使用します
199	数量	○	○N	数値	7		商品単品の数量を設定します 注：在庫移動時で使用する場合は、受領結果通知との照合に使用します
200	総バラ数量	○N	△	数値	10		商品単品(バラ)の総数を設定します 受領結果通知との照合に使用します 注：在庫移動で使用する場合は設定は任意項目となります
201	製造日	△	△	文字	8	YYYYMMDD	製造日
202	賞味期限	△	△	文字	8	YYYYMMDD	賞味期限／使用期限／有効期限の日付を設定します
203	消費期限	△	△	文字	8	YYYYMMDD	消費期限
204	製造ロット番号	△	△	文字	16		製造時のロット番号及びそれに準じる番号
205	温度帯区分	△	△	文字	2	区分コード	温度帯区分を設定します 1：常温、2：冷蔵、3：冷凍
206	明細備考	△	△	文字	100		商品明細の備考
207	[納伝情報商品明細リザーブ領域]						納伝情報商品明細レベルのリザーブ領域項目 1～10
208	納伝-商品明細-リザーブ領域1	△	△	文字	1024		
209	納伝-商品明細-リザーブ領域2	△	△	文字	1024		
210	納伝-商品明細-リザーブ領域3	△	△	文字	1024		
211	納伝-商品明細-リザーブ領域4	△	△	文字	1024		
212	納伝-商品明細-リザーブ領域5	△	△	文字	1024		
213	納伝-商品明細-リザーブ領域6	△	△	文字	1024		
214	納伝-商品明細-リザーブ領域7	△	△	文字	1024		
215	納伝-商品明細-リザーブ領域8	△	△	文字	1024		
216	納伝-商品明細-リザーブ領域9	△	△	文字	1024		
217	納伝-商品明細-リザーブ領域10	△	△	文字	1024		
218							

納品伝票情報

条件 → ○：必須、K：伝票照合キー、s,S：商品照合キー、N：数量確認項目、○*xn：選択必須、□：条件付き指定、△：任意、-：指定不要

No.	項目名	条件		書式			説明等
		販売物流	在庫移動	型	文字数	表記	
219	RTI伝票情報						
220	<RTI伝票共通情報>						RTI伝票の共通情報
221	RTI伝票ステータス	-		文字	5	コード	システムから返信時設定される工程情報 データを受信する際に伝票電子化システムで設定される情報です 本項目にはRTI伝票情報のステータスが設定されます。(エンドユーザは設定不要)
222	RTI伝票種別	○		文字	5	区分コード	RTI伝票の種別を設定します "JPRパレット伝票","Pパレ出荷伝票","Pパレ回収伝票","クレート伝票","クレート納品書"
223	RTI伝票ID(標準)	○		文字	40	コード	RTI伝票を識別するグローバルでユニークなIDを設定します ※ RTI伝票ID(標準)のコード内容については残課題としています
224	RTI伝票ID(ローカル)	△		文字	20	コード	RTI伝票を識別するローカル(企業内、システム内)なIDを設定します No.225「RTI伝票No.」以外にIDを付番する場合、作成時に採番します
225	RTI伝票No.	○		文字	23		RTI伝票の伝票番号を設定します
226	RTI指図番号	△		文字	23		発注データの発注番号を設定します
227	RTI伝票ローカルコード主	△		文字	13		拠点コードに自社のコードを使用しない場合は、使用した企業の企業コードを設定します
228	[RTI伝票共通情報リザーブ領域]						RTI伝票主要情報-リザーブ領域項目 1 ~ 5
229	RTI伝-共通-リザーブ領域1	△		文字	1024		
230	RTI伝-共通-リザーブ領域2	△		文字	1024		
231	RTI伝-共通-リザーブ領域3	△		文字	1024		
232	RTI伝-共通-リザーブ領域4	△		文字	1024		
233	RTI伝-共通-リザーブ領域5	△		文字	1024		
234	RTI伝-共通-リザーブ領域6	△		文字	1024		
235	RTI伝-共通-リザーブ領域7	△		文字	1024		
236	RTI伝-共通-リザーブ領域8	△		文字	1024		
237	RTI伝-共通-リザーブ領域9	△		文字	1024		
238	RTI伝-共通-リザーブ領域10	△		文字	1024		
239	RTI伝-共通-リザーブ領域11	△		文字	1024		
240	RTI伝-共通-リザーブ領域12	△		文字	1024		
241	RTI伝-共通-リザーブ領域13	△		文字	1024		
242	RTI伝-共通-リザーブ領域14	△		文字	1024		
243	RTI伝-共通-リザーブ領域15	△		文字	1024		
244	<日付情報>						RTI伝票の日付情報
245	出荷/貸出/回収日	○*r1		文字	8	YYYYMMDD	発側が出荷/貸出/回収を行う日を設定します No.247との選択必須
246	出荷/貸出/回収時間	△		文字	5	hh:mm	発側が出荷/貸出/回収を行う時刻を設定します
247	お届け/預かり日	○*r1		文字	8	YYYYMMDD	着側にお届けする日/着側でお預かりする日を設定します No.245との選択必須
248	お届け/預かり時間	△		文字	5	hh:mm	着側にお届けする時刻/着側でお預かりする時刻を設定します
249	[RTI伝票日付情報リザーブ領域]						RTI伝票日付情報-リザーブ領域項目 1 ~ 5
250	RTI伝-日付-リザーブ領域1	△		文字	1024		
251	RTI伝-日付-リザーブ領域2	△		文字	1024		
252	RTI伝-日付-リザーブ領域3	△		文字	1024		
253	RTI伝-日付-リザーブ領域4	△		文字	1024		
254	RTI伝-日付-リザーブ領域5	△		文字	1024		
255	<発拠点関連>						出発拠点
256	発拠点本社コード(標準)	△		文字	13	コード	発拠点の本社を表すコード(標準コード)
257	発拠点コード(標準)	○*r2		文字	13	コード	発拠点を表すコード(標準コード)
258	発拠点コード(ローカル)	○*r2		文字	13	コード	" (ローカルコード)
259	発拠点名	△		文字	50		発拠点の名称
260	発拠点担当者	△		文字	20		発拠点の担当者名
261	発拠点住所	△		文字	100		発拠点の住所
262	発拠点電話番号	△		文字	20		発拠点の電話番号
263	[RTI伝票発拠点情報リザーブ領域]						RTI伝票発拠点情報-リザーブ領域項目 1 ~ 5
264	RTI伝-発拠点-リザーブ領域1	△		文字	1024		
265	RTI伝-発拠点-リザーブ領域2	△		文字	1024		
266	RTI伝-発拠点-リザーブ領域3	△		文字	1024		
267	RTI伝-発拠点-リザーブ領域4	△		文字	1024		
268	RTI伝-発拠点-リザーブ領域5	△		文字	1024		
269	<着拠点関連>						到着拠点
270	着拠点本社コード(標準)	△		文字	13	コード	着拠点の本社を示すコード(標準コード)
271	着拠点コード(標準)	○*r3		文字	13	コード	着拠点を表すコード(標準コード)
272	着拠点コード(ローカル)	○*r3		文字	13	コード	" (ローカルコード)
273	着拠点名	△		文字	50		着拠点の名称
274	着拠点担当者	△		文字	20		着拠点の担当者名
275	着拠点住所	△		文字	100		着拠点の住所
276	着拠点電話番号	△		文字	20		着拠点の電話番号
277	[RTI伝票着拠点情報リザーブ領域]						RTI伝票着拠点情報-リザーブ領域項目 1 ~ 5
278	RTI伝-着拠点-リザーブ領域1	△		文字	1024		
279	RTI伝-着拠点-リザーブ領域2	△		文字	1024		
280	RTI伝-着拠点-リザーブ領域3	△		文字	1024		
281	RTI伝-着拠点-リザーブ領域4	△		文字	1024		
282	RTI伝-着拠点-リザーブ領域5	△		文字	1024		
283	<帳合関連>						帳合情報
284	帳合本社コード(標準)	△		文字	13	コード	帳合の本社を示すコード(標準コード)
285	帳合コード(標準)	△		文字	13	コード	帳合を表すコード(標準コード)
286	帳合コード(ローカル)	△		文字	13	コード	" (ローカルコード)
287	帳合名	△		文字	50		帳合の名称
288	[RTI伝票帳合関連リザーブ領域]						RTI伝票帳合関連-リザーブ領域項目 1 ~ 5
289	RTI伝-帳合-リザーブ領域1	△		文字	1024		
290	RTI伝-帳合-リザーブ領域2	△		文字	1024		
291	RTI伝-帳合-リザーブ領域3	△		文字	1024		
292	RTI伝-帳合-リザーブ領域4	△		文字	1024		
293	RTI伝-帳合-リザーブ領域5	△		文字	1024		

納品伝票情報

条件 → ○：必須、K：伝票照合キー、s,S：商品照合キー、N：数量確認項目、○*xn：選択必須、□：条件付き指定、△：任意、-：指定不要

No.	項目名	条件		書式			説明等
		販売物流	在庫移動	型	文字数	表記	
294	<合計・確認・備考等>						合計・確認・備考等の情報
295	合計RTI数量	△		数値	5		RTI伝票に記載のRTI(物流容器)の合計数量を設定します
296	合計RTI重量	△		数値	8	ZZZZ9.99	RTI伝票に記載のRTI(物流容器)の合計重量を設定します(単位はKg)
297	確認印情報	△		文字	100		着拠点で受領した際の受領サイン等のイメージ情報が格納されている場所を示すURLを設定します ※着拠点で作成される情報を設定する項目
298	備考	△		文字	100		備考欄
299	[RTI伝票合計備考等リザーブ領域]						RTI伝票合計備考等リザーブ領域項目1～5
300	RTI伝-合計-リザーブ領域1	△		文字	1024		
301	RTI伝-合計-リザーブ領域2	△		文字	1024		
302	RTI伝-合計-リザーブ領域3	△		文字	1024		
303	RTI伝-合計-リザーブ領域4	△		文字	1024		
304	RTI伝-合計-リザーブ領域5	△		文字	1024		
305							
306	RTI種類明細リスト						繰り返し項目
307	RTI種類コード(標準)	○*r4		文字	32	コード	RTI(物流容器)の種類を表すグローバルでユニークなコードを設定します ※No.308との選択必須 ※RTI種類コード(標準)のコード内容については残課題としています
308	RTI種類コード(ローカル)	○*r4		文字	20	コード	RTI(物流容器)の種類を表すローカル(企業内、システム内)なコードを設定します ※No.307との選択必須
309	RTI種類名	△		文字	50		RTIの種類名(JPRPT11型など)
310	RTI形態区分コード	△		文字	2	区分コード	RTI(物流容器)利用時の形態を設定します ※飲料容器での利用を想定 1：空箱、2：空瓶、3：瓶箱セット 形態の設定を行わない場合は指定不要です
311	RTI形態区分名	△		文字	20		(瓶箱セット、空瓶、空箱など)
312	RTI数量	◎		数値	5		RTI種類ごとの数量(枚数、個数)
313	RTI重量	△		数値	8	ZZZZ9.99	RTI種類ごとの重量(kg,"99999.99")
314	RTI管理区分	◎		文字	2	区分コード	RTI(物流容器)の管理区分を設定します 1：総量管理、2：個体管理 数量のみで管理する場合は「1：総量管理」を、個体番号で管理する場合は「2：個体管理」を指定します。総量管理の場合はNo.315以降の項目は指定不要です
315	RTI個体情報種類	△		文字	3	区分コード	RTI(物流容器)を個体管理する場合の個体を表すコードの種類を設定します 1 0 1：GRAI、1 0 2：SSCC、9 0 1：独自シリアル番号等
316	[RTI伝票明細リザーブ領域]						RTI伝票明細情報リザーブ領域項目1～5
317	RTI伝-明細-リザーブ領域1	△		文字	1024		
318	RTI伝-明細-リザーブ領域2	△		文字	1024		
319	RTI伝-明細-リザーブ領域3	△		文字	1024		
320	RTI伝-明細-リザーブ領域4	△		文字	1024		
321	RTI伝-明細-リザーブ領域5	△		文字	1024		
322							
323	RTI個体情報リスト						RTI(物流容器)の個体情報を設定します RTI個体情報リストは、RTI種類明細リスト内で複数指定可能とします
324	RTI個体情報	△		数値	50		RTI(物流容器)の管理番号(個体番号)を設定します
325	RTI個体重量	△		数値	6	ZZ9.99	RTIの個体の重量(kg,"999.99")
326	[RTI伝票明細個体リザーブ領域]						RTI伝票明細個体情報リザーブ領域項目1～5
327	RTI伝-個体-リザーブ領域1	△		文字	1024		
328	RTI伝-個体-リザーブ領域2	△		文字	1024		
329	RTI伝-個体-リザーブ領域3	△		文字	1024		
330	RTI伝-個体-リザーブ領域4	△		文字	1024		
331	RTI伝-個体-リザーブ領域5	△		文字	1024		
332							
333							
334							